

2. 板橋家頭夫. 胎児プログラミング仮説. よくわかる子どもの肥満 (岡田知雄編著) 永井書店, 大阪, 2008, p.155-159.
3. 板橋家頭夫. 周産期医療に携る施設をどのように評価するか・教育・研修の立場から. 周産期医学 2008; 38:93-97.
4. 板橋家頭夫. 超低出生体重児の死亡率の推移. 周産期医学 2008;38:414-413.
5. 板橋家頭夫. 早産低出生体重児の栄養とその後の問題. 周産期医学 2007; 37:621-626.
6. 板橋家頭夫. 超低出生体重児の短期予後に関する年次推移. 周産期医学 2007; 37:417-419.
7. Mizuno K, Nishida Y, Taki M, Hibino S, Murase M, Sakurai M, Itabashi K. Infants with bronchopulmonary dysplasia suckle with weak pressures to maintain breathing during feeding. Pediatrics. 2007; 120: e1035-1042.
8. Itabashi K, Mishina J, Tada H, Sakurai M, Nanri Y, Hirohata Y. Longitudinal follow-up of height up to five years of age in infants born preterm small for gestational age; comparison to full-term small for gestational age infants. Early Hum Dev. 2007; 83:327-333.
9. Mizuno K, Miura F, Itabashi K, Macnab I, Mizuno N. Differences in perception of the WHO International Code of Marketing of Breast Milk Substitutes between pediatricians

and obstetricians in Japan. Int Breastfeed J. 2006; 22:12-17.

10. 板橋家頭夫. 出生時体格基準値. 周産期医学増刊・周産期必修知識 (第6版) 2006; 36:398-400.

G.知的財産権の出願・登録状況  
なし

研究協力: HIS 所属 31 施設

氏名	所属
備保 善英	豊育病院
小川 麻子	ごきそレディスクリニック
森 和郷	森産科婦人科病院
宮原 英二	宮原レディースクリニック
竹村 秀雄	小阪産病院
美馬 宏夫充	美馬産科婦人科病院
天ヶ瀬 寛信	あまがせ産婦人科医院
荒木重平	荒木病院
片瀬 高	産婦人科築紫クリニック
河上 祥	福田病院
手島 研作	ひたちなか母と子の病院
塩原 和夫	新横浜母と子の病院
伊集院 吐夢	伊集院病院
磯部 孟生	磯部レディースクリニック
岩永 成晃	岩永レディスクリニック
林 修	恵愛病院
吉良 敏彦	きら病院
三宅 馨	三宅医院
長田 昭夫	母と子の長田産科婦人科クリニック
高後 亮	札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル
上田 緑郎	上田病院
八木薫一郎	八木産婦人科
神野 佳樹	神野レディースクリニック
岩瀬 克敏	加藤産婦人科病院
是永 強夫	エンゼル・クリニック
古川 宣二	古川産婦人科
吉田 昌弘	Ladies & Maternity Clinic SANTA CRUZ the SYUKUGAWA
渡辺 忠義	渡辺産婦人科クリニック
真井 康博	慶愛病院
吉田 至誠	島原マタニティ病院

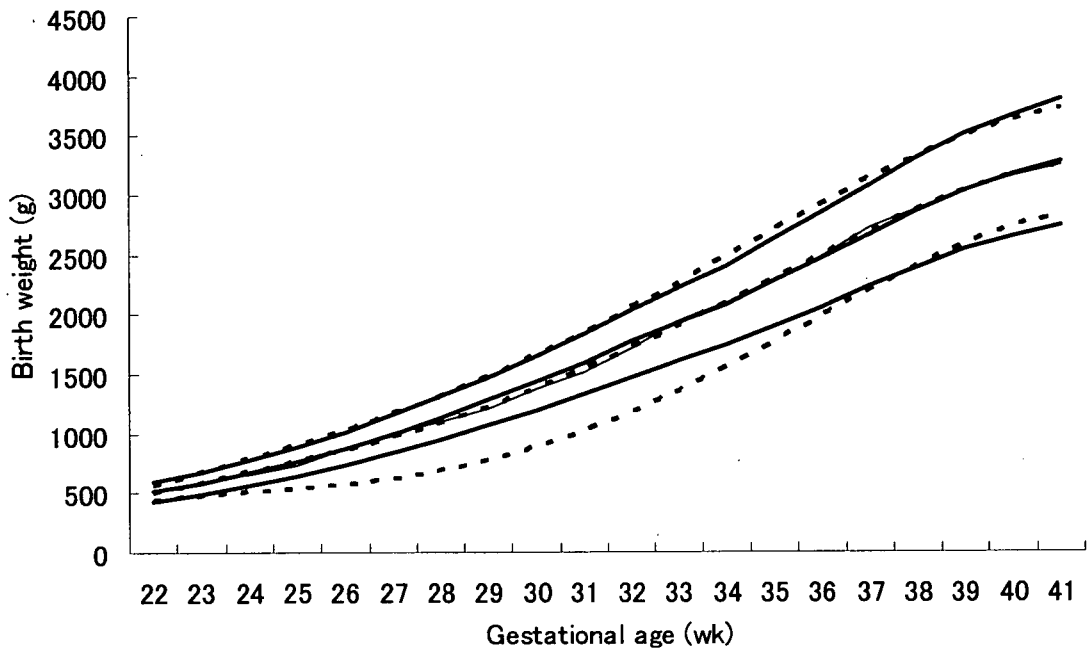


図1 男児(初産)体重基準値(破線は2003-2005年出生児)

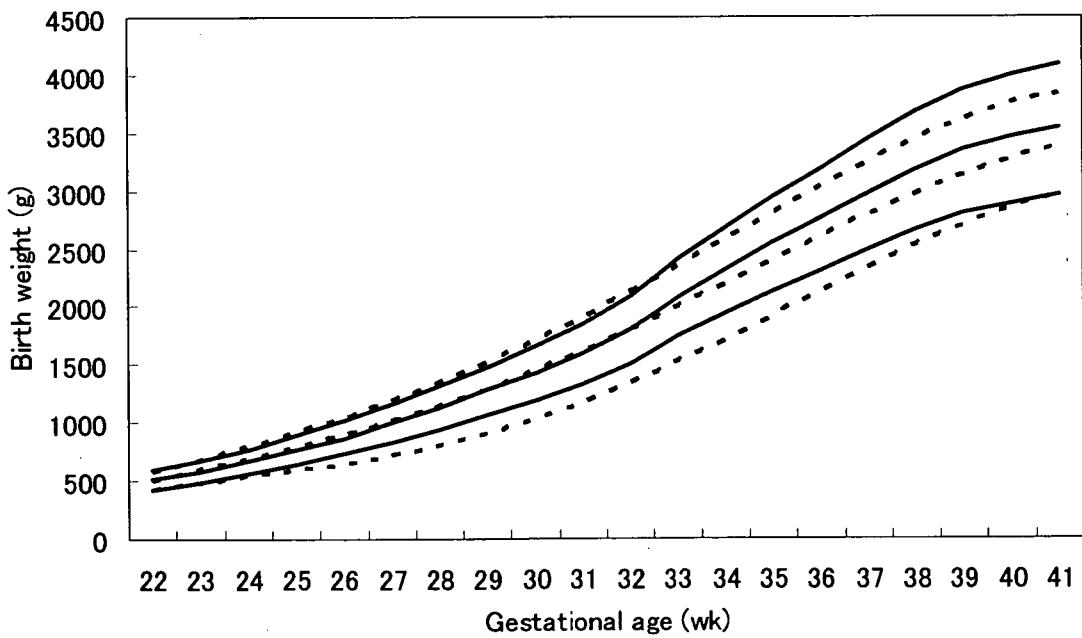


図2 男児(経産)体重基準値(破線は2003-2005年出生児)

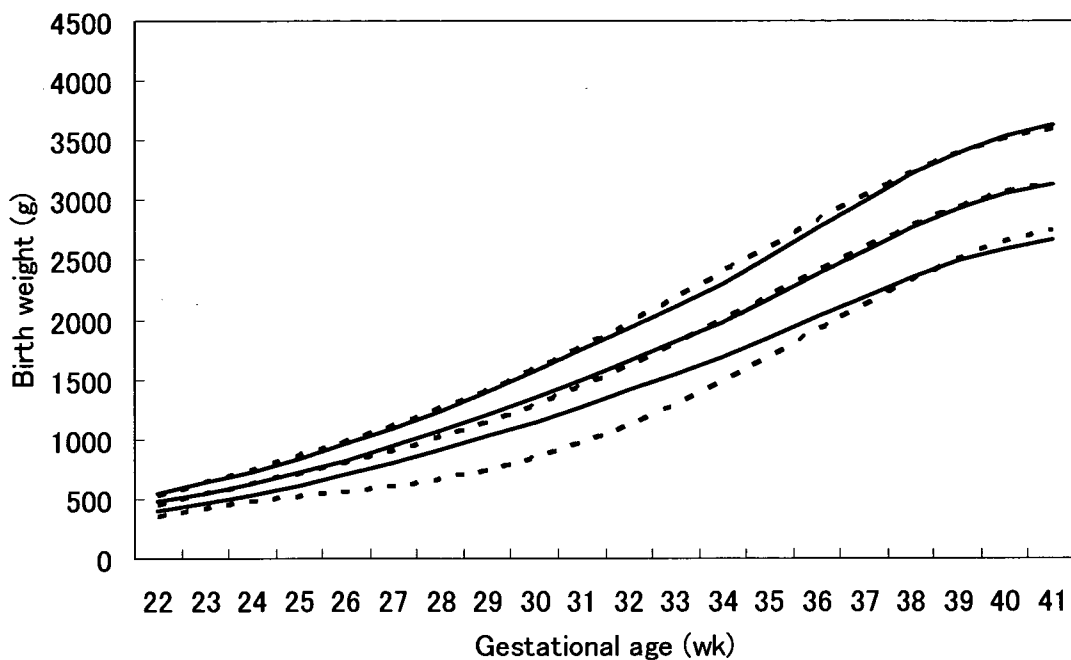


図3 女兒(初産)体重基準値(破線は2003-2005年出生児)

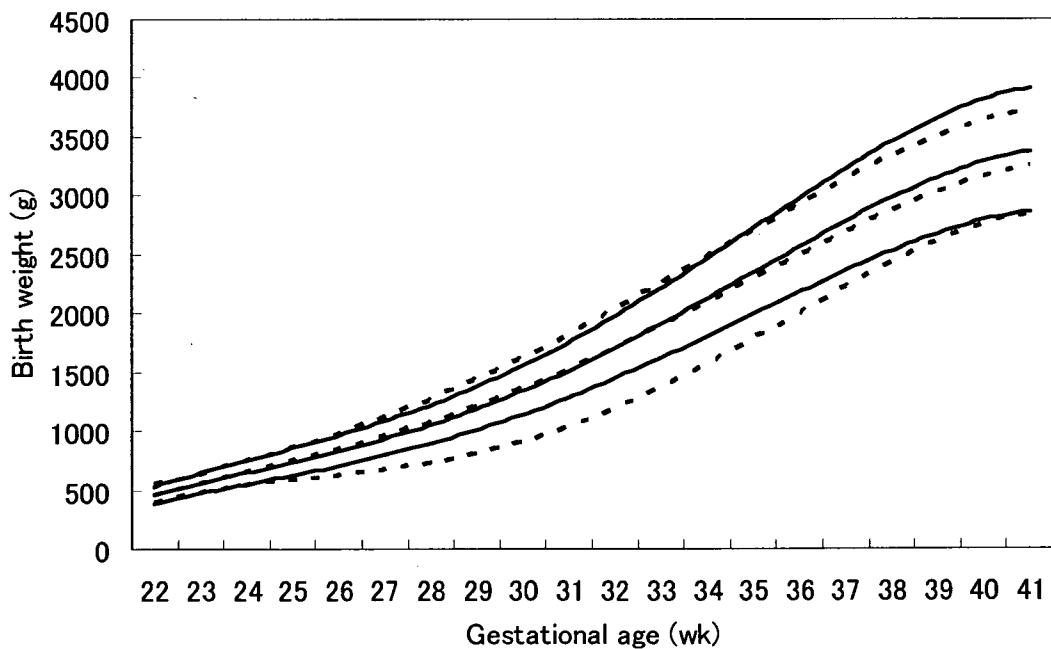


図4 女兒(経産)体重基準値(破線は2003-2005年出生児)

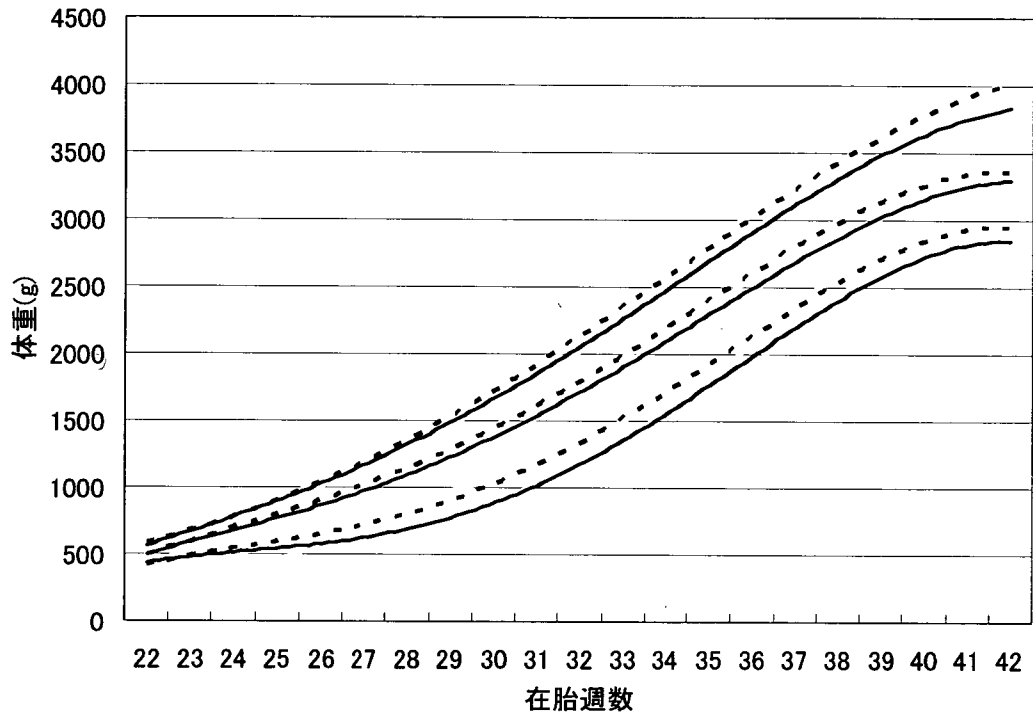


図 5 2003—2005 年出生男児の体重(初産:実線、経産:破線)

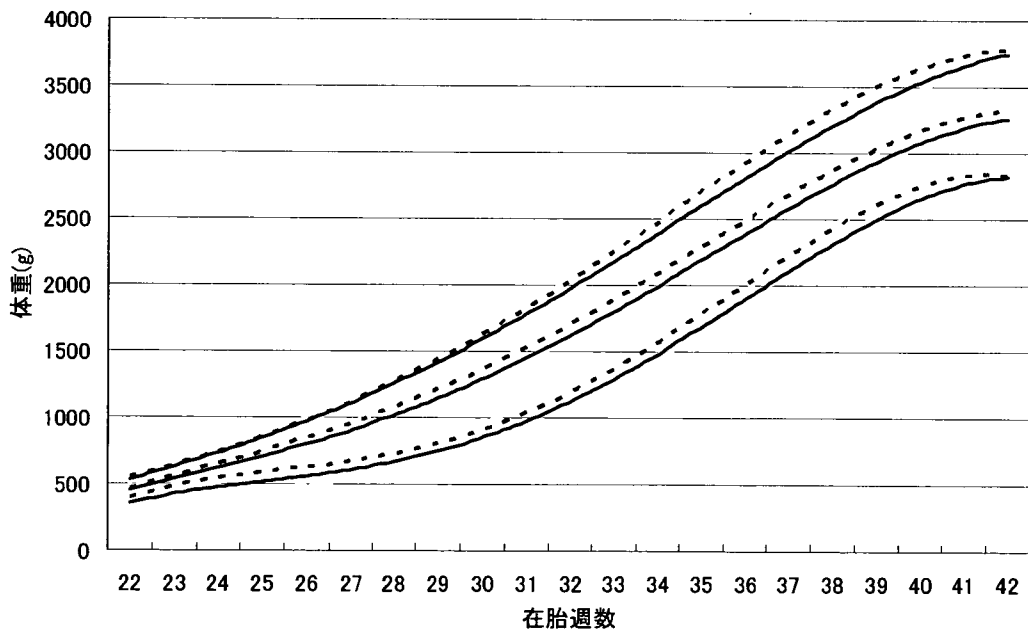


図 6 2003—2005 年出生女児の体重(初産:実線、経産:破線)

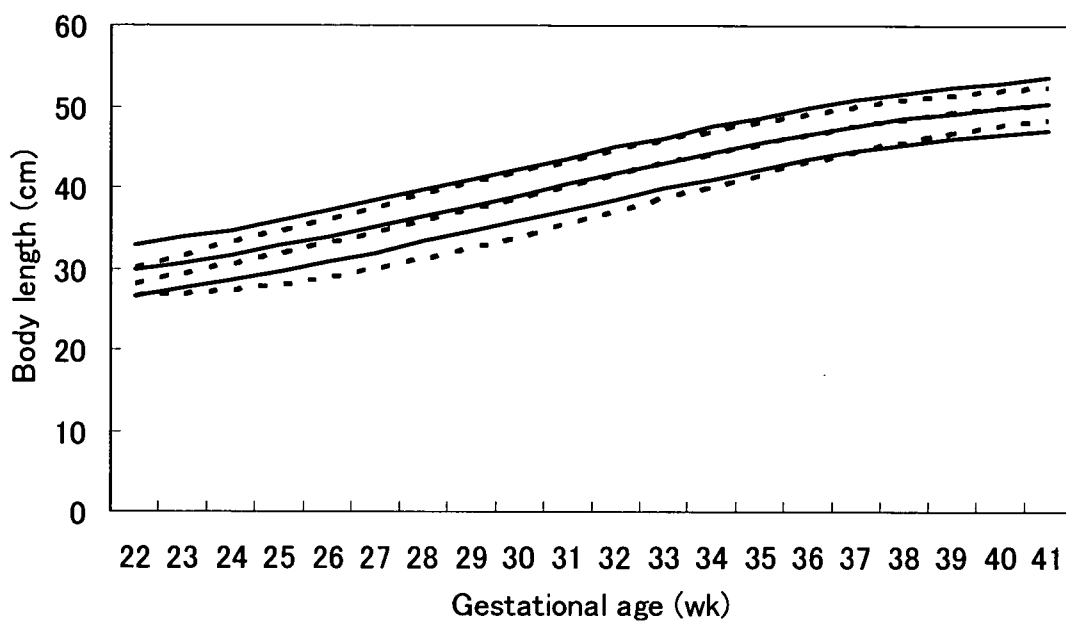


図 7 男児(初産)身長基準値(破線は 2003-2005 年出生児)

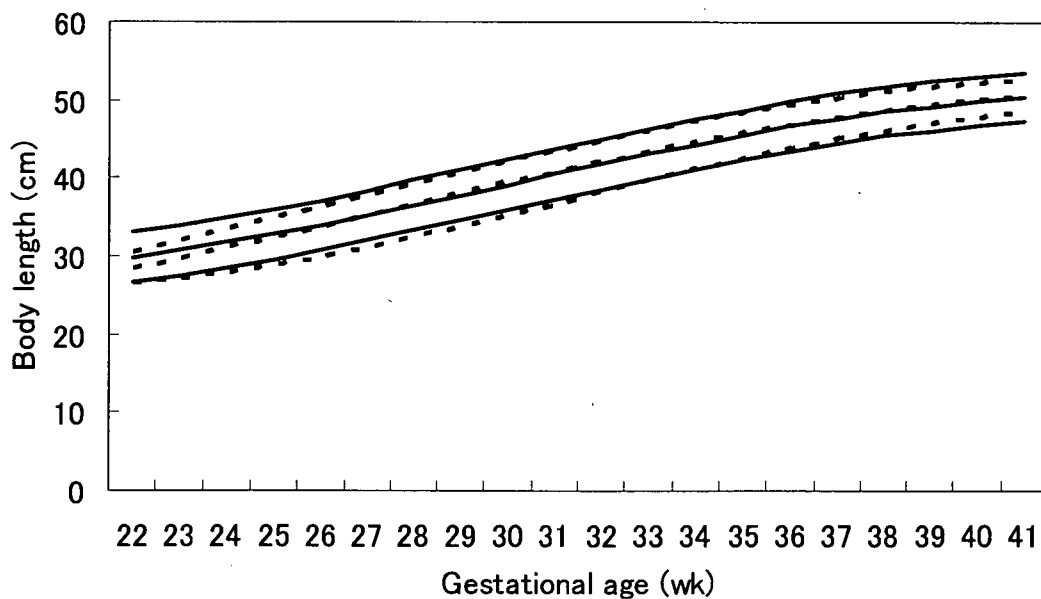


図 8 男児(経産)身長基準値(破線は 2003-2005 年出生児)

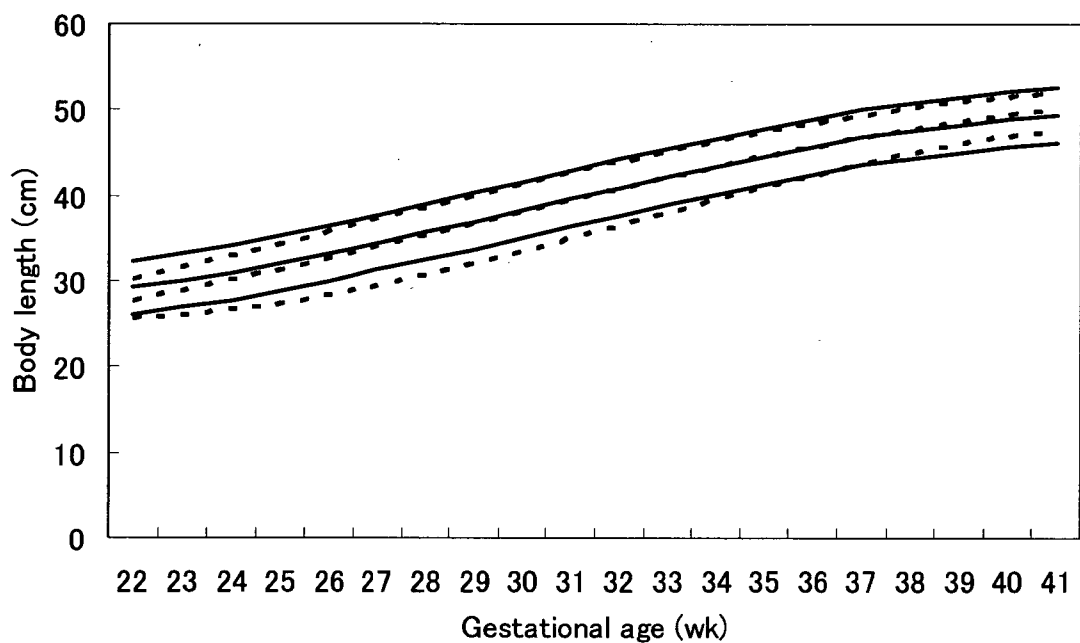


図9 女兒(初産)身長基準値(破線は2003-2005年出生児)

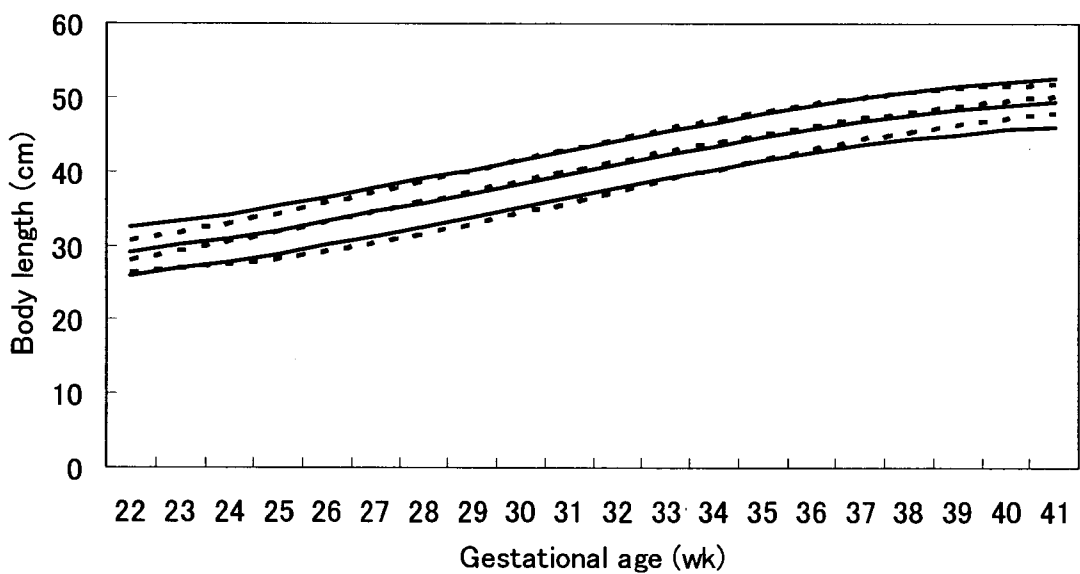


図10 女兒(経産)身長基準値(破線は2003-2005年出生児)

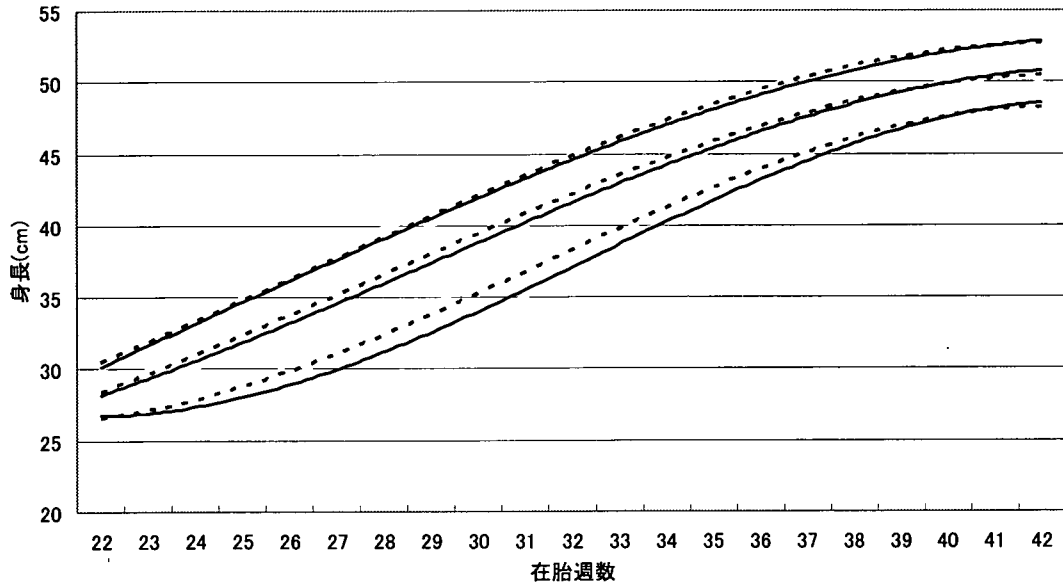


図 11 2003-2005 年出生男児の身長(初産:実線、経産:破線)

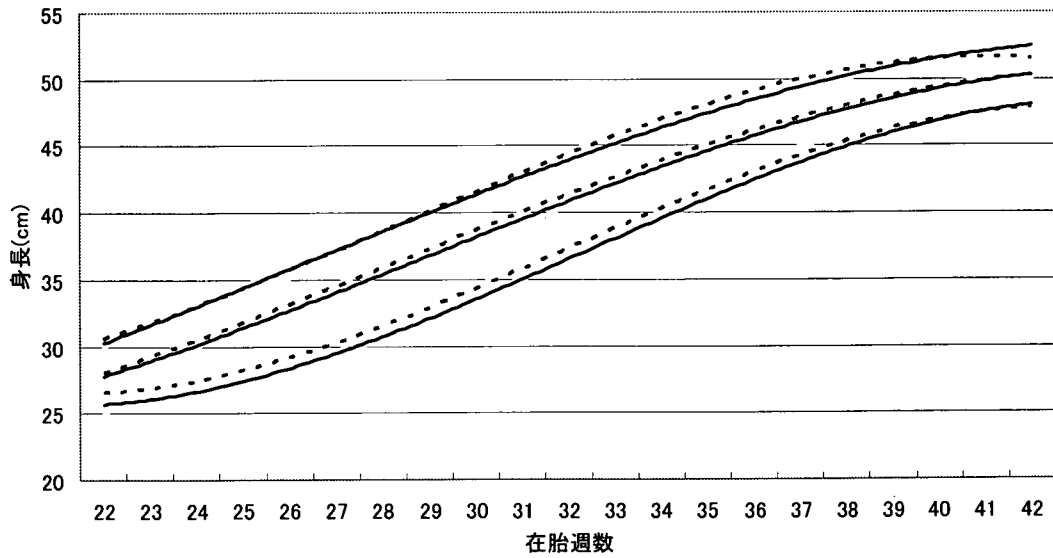


図 12 2003-2005 年出生女児の身長(初産:実線、経産:破線)

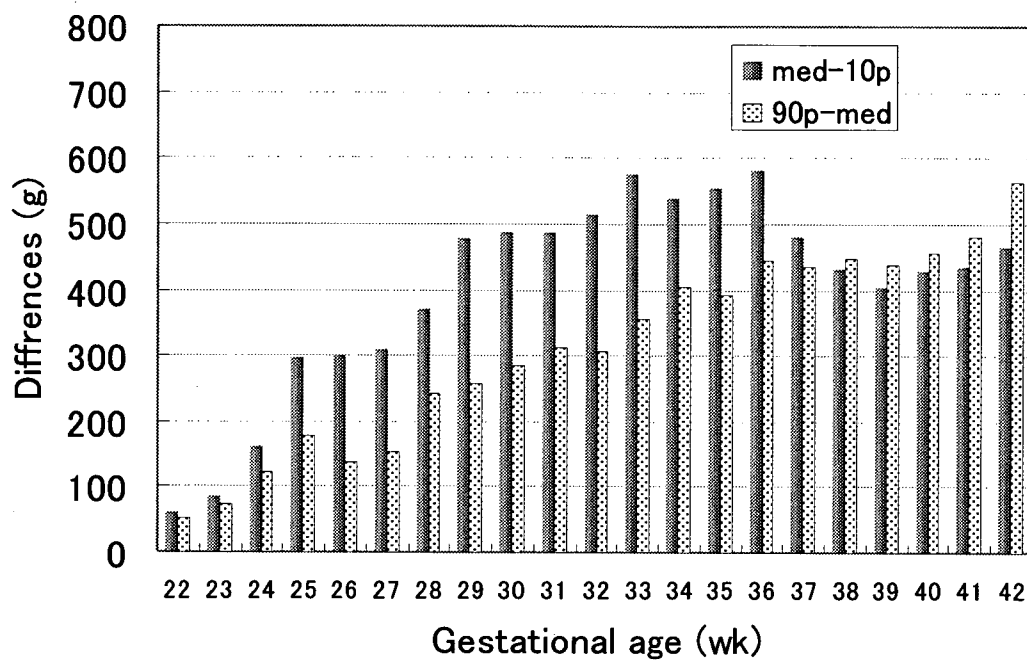


図 13 在胎週数別にみた中央値と10パーセンタイルおよび90パーセンタイルの差(初産・男児の体重)



(巻末資料) 前向き調査のための帳票 (入力例)

在胎週数別出生時身体発育基準値作成データベースVer.1.0

(2008年版)

項目名	入力	備考
201 登録番号	20080001	
<b>A 母体情報</b>		
301 母年齢	32 歳	
302 妊娠回数(今回を含まず)	2 回	
303 分娩回数(今回を含まず)	1 回	
S31 母体基礎疾患	● はい    ● いいえ	
中樞神経系(含む脳血管疾患)	骨・筋系統	精神疾患
自己免疫疾患	消化器	血液
外傷・中毒	糖尿病/GDM	腎
感染症TORCH	感染症その他	
呼吸器	泌尿器	子宮
付属器	本態性高血圧	肝
甲状腺	血液型不適合	心
その他		
S32 母体非妊娠時体重	48 kg	
S33 母体非妊娠時身長	158 cm	
S34 母体分娩時体重	54 kg	
S35 不妊治療	はい    ● いいえ	
S35-2 不妊治療「はい」の場合	体外受精    ● その他	
<b>B 妊娠合併症</b>		
401 胎児数	1	
402 出生順位	番目	
403 膜性(多胎の場合)	○ 一絨毛膜    ○ 二絨毛膜以上    ○ 不明	
404 糖尿病(GDMを含む耐糖能の異常)	はい    ● いいえ	
405 妊娠高血圧・子癇発作	はい    ● いいえ	
406 臨床的絨毛膜羊膜炎	はい    ● いいえ    不明	
S47 子宮内発育遅延の有無(FGR)	はい    ● いいえ    不明	
<b>C 分娩情報</b>		
501 前期破水	はい    ● いいえ    不明	
502 母体ステロイド投与	はい    ● いいえ	
503 胎児心拍異常	はい    ● いいえ	
504 胎位	● 頭位    ● その他	
505 分娩様式	● 経陰    ● 経陰(吸引、鉗子)    ● 帝王切開	
<b>D 新生児情報</b>		
603 性別	● 男    ● 女	
606 在胎期間週	37 週 1 日	
S61 妊娠初期の超音波による補正	● はい    ● いいえ	
608 アプガー1分	7 点	不明は99
609 アプガー5分	9 点	不明は99
610 蘇生時酸素使用	はい    ● いいえ	
611 蘇生時気管挿管	はい    ● いいえ	
612 出生体重	2820 g	
613 出生時身長	48 cm	
614 出生時頭囲	32.3 cm	
S62 出生時胸囲	32 cm	

S63 出生時異常	はい	● いいえ
S63-1 外表奇形	◎ はい	◎ いいえ
内容:		
S63-2 染色体異常	◎ はい	◎ いいえ
S63-3 光線治療	◎ はい	◎ いいえ
S63-4 低血糖	◎ はい	◎ いいえ
S63-5 その他	◎ はい	◎ いいえ
内容:		
S64 転送	◎ はい	◎ いいえ
理由:		
転送先:		
1601 退院時生後日数(Discharge:day):		5 日
1602 死亡退院(Discharge:death):	はい	● いいえ

厚生科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）

周産期母子医療センターネットワークによる医療の質の評価と、  
フォローアップ・介入による改善・向上に関する研究  
総括・分担研究報告書（平成 19 年度）

2008 年 3 月 28 日

「周産期母子医療センターネットワーク」研究班  
主任研究者 藤村正哲

大阪府立母子保健総合医療センター  
〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840  
Tel 0725-56-1220, Fax 0725-56-5682